

・承認された治療法の情報公開文書

実施内容	1%ルゴール液散布下での食道内視鏡観察
承認者	国家公務員共済組合連合会 名城病院 病院長 後藤 秀実
対象患者	当院で治療を受ける患者さんで、食道がんが疑われる患者さん
承認日	2023年6月13日
実施期間	承認後から永続的に使用
目的・概要	上部消化管内視鏡で食道観察時、食道がんの存在診断、進展度診断目的として院内で調製された薬剤を直接食道に散布する方法で使用します。
予想される不利益と対策	散布後、不快感がしばらく残存する可能性があります。 検査後内視鏡抜去前に残存するルゴール液を可能な限り吸引回収し、10%チオ硫酸ナトリウム液を、ルゴール液成分を中和する目的で直接食道に散布し不快感を緩和します。